

3/14 第3回卒業証書授与式 9年生 感動をありがとう！

●今年の卒業生の大半は、9年前にこの地に能勢小学校・中学校が開校したときの入学生で、学校の歴史と共に歩んできた学年です。地域の方々のおかげで数多くの貴重な体験ができました。卒業生との思い出を振り返りながら、一人ひとりに心を込めて卒業証書を渡しました。

卒業生の態度は本当に立派でした。卒業の言葉も歌も、9年団の先生方への感謝とお礼の言葉も9年生らしい、思いやりとやさしさがにじみ出ていました。



●卒業生には、西岡常一さんの著書「木に学べ」より、私から「はなむけの言葉」を贈りました。西岡さんは、今から1300年以上前の飛鳥時代のお寺、法隆寺や薬師などの建築技術を現代に伝えた最後の宮大工です。これからの人生で大切にしてほしい生き方について次のように話しました。

「木と同じように、人間も自分のクセを知りながら、他人のクセも理解し、自分の役割を自覚しながら、自分らしさを生かしながら人生を歩んでほしい。」

「どんな時代になろうとも、人間として謙虚になって、自然からいのちをもらって生かされてることを自覚して、先人の残した「もののねうち」を見つけて、知恵を生かして生きてほしい。」

「頭を使うことも大切だが、肉体を持つ人間として、体をしっかり動かして、汗をかいて、人の心を考えて生きてほしい。」



●卒業生は、能勢ささゆり学園で学んだ仲間です。友だちとの交流を大事にして 能勢の文化と歴史に誇りをもって いのちと平和を土台に据えて 真理を究めて 明日も元気に 生きていってください。教職員一同、卒業生を応援し続けます。

●在校生を代表して 8 年生徒会の送辞も立派でした。また、在校生の歌「旅立ちの時」～Asian Dream Song～ではお世話になった 9 年生への感謝の気持ちを込めてみんなで歌いました。9 年生から 8 年生へバトンが渡され、8 年生はいよいよ最高学年となる自覚を胸にしたひとときでした。

第 6 学年ステージセレモニー 前期課程修了証書授与 おめでとう

●3 月 18 日（火）13：30 から第 6 学年ステージセレモニーをおこないました。一人ひとりが将来の夢や今後の目標を宣言して、前期課程修了証書を受け取りました。この 6 年間の成長を保護者の皆さんとともに喜び合い、これからの 3 年間で応援し続ける節目のセレモニーとなりました。年明けから練習してきた合唱「虹」「いのちの歌」は大変立派でした。歌に込められた 6 年生の思いとまとまりを感じた合唱で聴く人たちの心に伝わる素晴らしい発表でした。



●式辞では、「今の自分が好きですか？」と問いかけ、他人と比べるのではなく、「自分を好きになりたい」「自信をもちたい」という強い気持ちを持ち続けることの大切さについて話しました。モデルの富永愛さんの言葉「百点満点の人なんていないし、向いていないこと、できないことがあるのは当たり前。でも、自分にはできることがある。そうやって自分を知ることによって、自分を認めることができるのかもしれない。」の言葉を贈りました。自分だけのたった一つのいのちを大事に守り、育み、輝かせてほしいと伝えました。4 月からは 7 年生。なりたい自分の姿を思い描きながら、どんな自分も受け入れて、さらに自分を深く知り、自分らしさを磨いていってください。

●セレモニーでは前期課程の代表として 5 年生が参加しました。6 年生が入退場するときにリコーダーで「翼をください」を演奏し、会場はとても厳かな雰囲気になりました。4 月から 5 年生は前期課程の最高学年になります。前期課程のリーダーとして活躍を期待しています。